

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	25	事業名	子ども医療費支給拡大事業		担当課		保険医療課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-1-3-3 子ども医療費支給事業		
			(中事業名) 子ども医療費支給事業		決算書ページ		102	～ 一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち					
		政策	1	妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援					
		施策	(1)	子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進					
	その他	開始年度	昭和48年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可		
		根拠法令等	長久手市子ども医療費支給条例						
		関連計画							
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 12,862人 【事業内容】 子どもの疾病または負傷時に必要な医療を適切に受けられるよう医療費の自己負担分を支給する子ども医療費支給事業について、令和6年10月1日から通院に係る医療費の支給対象者を高校生世代まで拡大します。		【アクションプラン指標】 子ども医療費支給拡大による高校生世代への受給者証の発行者数【単年】		高校生世代の子どもへ通院医療費の支給を行う。		大事業共通 子どもたちが安心して学び、健やかに成長することができるまちを目指す。	
				(成果指標名) 高校生世代の子どもへの通院医療費支給額					

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2024年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
		1	【アクションプラン指標】	人	基準値	0	目標値	2,046	—	—	—	—
			子ども医療費支給拡大による高校生世代への受給者証の発行者数【単年】		目標値	2,046	実績	1,887	—	—	—	—
		2			基準値		目標値					
			目標値			実績						
		3			基準値		目標値					
			目標値			実績						
		4			基準値		目標値					
			目標値			実績						
エピソード	事業開始の背景	子どもの医療費の一部を支給することにより子どもの福祉の増進を図ることを目的とし、昭和48年4月に愛知県乳児医療制度の創設に合わせ開始した。										
	各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R6	令和6年10月1日から支給対象を全ての高校生世代の入通院に拡大することに伴い、高校生世代を含む全ての受給者約12,000人に対し、医療費受給者証を発行し、支給を開始した。令和6年度目標値は受給者証発行前のため年度当初時点の高校生世代人口、実績は年度末時点での受給者証発行後の実際の受給者数としているため乖離が生じるが、必要な方に必要な医療費支給を行っている。				R7						
	R8					R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		高校生世代の子どもへの通院医療費支給額		円	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		7 年度		8 年度		
					0		0		－		8千万		8千万		
		成果達成状況					指標目標値の根拠								
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					高校生世代の子どもが必要な医療を適切に受けられるよう制度を拡大したため、拡大検討時に中学生世代までの子どもが一年間に使用した通院医療費を基に必要な事業費を算出した。							
	評価の理由、分析														
	令和6年10月から制度を拡大したため、当該医療費が通年でどの程度使われたか確認ができるのは、令和7年度以降となるため。														
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由											
		D	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		必要な方が必要な医療を受けられるよう、支給事業は適正に実施するが、拡大事業としては完了したため。										
		改善ポイント													
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）															
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度				
1	適正受診の周知啓発	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	令和6年10月1日から対象を高校生通院分まで拡大したため今後経費の増加が見込まれるが、過度な支出とならないよう、医療の適正な受診について周知啓発を行う。												
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年間の推移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		D	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			475,686	498,390	559,294	513,256	655,058	
		理由			特定財源	合計額	118,921	106,056	133,157	96,380	146,602
		支給事業は今後も継続するが、拡大事業は廃止するため。				(内 国費)					
						(内 県費)	118,921	106,056	133,157	96,380	146,602
						(内 諸収入)					
						(内 その他)					
		積算額			一般財源		356,765	392,334	426,137	416,876	508,456
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
子ども医療費 655,058千円（559,294千円）											